

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2000-137975(P2000-137975A)

【公開日】平成12年5月16日(2000.5.16)

【出願番号】特願平10-310758

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 27/034

G 1 1 B 7/00

【F I】

G 1 1 B 27/02 K

G 1 1 B 7/00 6 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月28日(2005.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の主記録情報を記録する目次情報を記録する目次領域を備えて再生専用の第1の光ディスクから光学的に再生された上記主記録情報を、複数の主記録情報を記録する目次情報を記録する目次領域を備えて記録再生両用の第2の光ディスクに光磁気的に記録する光ディスクの記録方法において、

上記第2の光ディスクの上記目次領域における上記目次情報の有無を検知して、当該目次情報が検知されないときは、上記第1のディスク媒体の上記目次領域から再生された目次情報を上記第2のディスク媒体の上記目次領域に記録するようにした

ことを特徴とする光ディスクの記録方法。

【請求項2】

請求項1に記載の光ディスクの記録方法において、

上記第1の光ディスクから再生された上記複数の主記録情報のすべてを同順序で上記第2の光ディスクに記録する際は、当該第2の光ディスクの上記目次領域の第1の所定範囲に、上記第1の光ディスクの少なくとも上記主記録情報の全数と総再生時間とを記録すると共に、

上記第1の光ディスクから順不同で再生された上記複数の主記録情報を上記第2の光ディスクに記録する際には、当該第2の光ディスクの上記目次領域の第2の所定範囲に上記第1の光ディスクの上記主記録情報の番号と再生時間とを記録するようにした

ことを特徴とする光ディスクの記録方法。

【請求項3】

複数の主記録情報を記録する目次情報を記録する目次領域を備えて再生専用の第1の光ディスクから光学的に再生された上記主記録情報を、複数の主記録情報を記録する目次情報を記録する目次領域を備えて記録再生両用の第2の光ディスクに光磁気的に記録する記録手段を有する光ディスクの記録装置において、

上記第2の光ディスクの上記目次領域における上記目次情報の有無を検知する目次情報検知手段を設けると共に、

この目次情報検知手段に応動して、上記第2のディスク媒体の上記目次領域への上記第1のディスク媒体の上記目次領域から再生された目次情報を記録する目次情報記録

制御手段を設けた

ことを特徴とする光ディスクの記録装置。

【請求項4】

請求項1に記載の光ディスクの記録装置において、

上記複数の主記録情報と、その記録順序との選択を制御する主記録情報選択制御手段を有し、

この主記録情報選択制御手段に上記目次情報記録制御手段が応動して、

上記第1の光ディスクから再生された上記複数の主記録情報のすべてを同順序で上記第2の光ディスクに記録する際は、当該第2の光ディスクの上記目次領域の第1の所定範囲に上記第1の光ディスクの少なくとも上記主記録情報の全数と総再生時間とを記録するよう制御すると共に、

上記第1の光ディスクから再生された上記複数の主記録情報を順不同で上記第2の光ディスクに記録する際には、当該第2の光ディスクの上記目次領域の第2の所定範囲に上記第1の光ディスクの上記主記録情報の番号と再生時間とを記録するように制御する

ことを特徴とする光ディスクの記録装置。

【請求項5】

複数の主記録情報に関する目次情報を記録する目次領域を備えた第1のディスクから再生された上記主記録情報を、第2のディスクに記録するディスクの記録方法において、

上記第1のディスクから再生された上記複数の主記録情報を同順序で上記第2のディスクに記録する際は、上記第1のディスクの上記主記録情報のそれぞれの番号と再生時間とを記録すると共に、

上記第1のディスクから順不同で再生された上記複数の主記録情報を上記第2のディスクに記録する際には、上記第2のディスクに、記録順に関係なく、上記第1のディスクの上記主記録情報のそれぞれの番号と再生時間とを記録するようにした

ことを特徴とするディスクの記録方法。